

## 角館高校の教育実践報告

5月23日～27日に開催された全県総体陸上競技を皮切りに、各競技の全県総体が行われ、各部が見事な頑張りを見せました。

強豪秋田商業を相手に1-0と大健闘を見せたサッカー部、素晴らしいチームワークで4位にくい込んだ山岳部など、角高生の若杉精神を存分に発揮した大会であったと言えます。

そして、女子卓球部、陸上競技部の藤川健太さん、草薨祐輔さん、小原大輔さん、剣道部の大黒南さん、弓道同好会の大河由佳さんが見事東北大会出場の切符を勝ち取ることができました。

選手を代表して、陸上部の藤川健太さんと女子卓球部主将の小松麻衣さんから、全県大会の感想と東北大会への意気込みを寄せてもらいました。



5000m競歩で東北大会出場の藤川健太さん

全県大会では、1kmを過ぎた後にバテてしまいましたが、何とかペースを落とさずにゴールすることができ、結果的に自己ベストを出すことができました。東北大会に通用するタイムではありませんでしたが、自分の課題であった疲れてくると両足が浮いてしまう癖をしっかり克服することができたので、全県大会はいいレースが出来たと思います。

東北大会では、この3年間で自分がしてきたことや注意されたことを思い出すとともに、東北大会に出場したくても出場することができなかった友達やライバルたちの思い、今まで自分を支えてくれた方々の思いを全て背負って、3位以内に入れるように食らいついていきたいです。

(陸上競技部 藤川健太)



女子団体で東北大会出場を決めた卓球部

今年の卓球の東北大会は地元開催ということで、東北大会への出場枠が増えていました。これは私たちが東北大会へ出場するための最大のチャンスであり、3年生にとっては最後のチャンスでもありました。部員一人ひとりが「絶対に負けたくない」という気持ちを持ち、毎日練習に取り組み、全県総体に挑みました。その結果、全県総体ではみんなの気持ちが一つになり、厳しい接戦を乗り越え東北大会の団体出場件を得ることができました。その瞬間みんなで喜び合い、今まで頑張ってきた本当に良かったと思いました。指導してくれた先生、コーチ、OBの先輩方、いつも支えてくれた先生方、家族、友達、たくさんの方々の力があつたからこそできたことだと思います。

東北大会では、支えてくれた方々に恩返しできるよう、今まで練習してきたすべてのことを出し切り、悔いの残らない試合をしてきたいです。角館高校の代表として、秋田県の代表として、最後まで諦めず、みんなで一つでも多く勝っていけるよう頑張ります。

(女子卓球部 小松麻衣)

## われら角高 テージセー

定時制にも部活動があります。仕事を持つ生徒にとって毎日の練習はハードです。だから大会が終了した今、結果の違いこそあれ、選手たちの胸に去来する思いには共通したものがあつます。それはお互いに「協力」することでなし得た、爽快な達成感です。ここに角館高校テージセーの部活動に協力してくださったすべての方々へ感謝の気持ちを込めて「ありがとうございます」を伝えます。

角高定時制 特活部

### 第46回秋田県定時制通信制総合体育大会の成績

6月14日～15日 県立体育館他

#### ◆卓球

男子	団体	角館高校	2位
	個人	久米健太	3位
		鈴木智宏	3位
女子	団体	角館高校	2位

#### ◆陸上競技

男子800m	長澤拓也	2位
男子1500m	長澤拓也	3位
男子砲丸投	藤田 駿	3位

#### ◆柔道

男子個人軽量級	長澤拓也	1位
---------	------	----

#### ◆バドミントン

男子シングルス	櫻田孝輔	3位
男子団体	角館高校	3位
女子シングルス	木元幸穂	3位
女子シングルス	高橋春香	3位
女子団体	角館高校	2位